

福岡県立修猷館高等学校のグランドデザイン



”世のため人のため”

「校是」 質朴剛健 不為執立 自由剛健

◆本校の将来ビジョン

「全人教育」を中心に据えた教育活動の実践 / 次代の国際社会や日本を担う人材・リーダーの育成 / 教育の先進性と地域における教育の役割を見据えた改革の推進 / 日本の代表的な高等学校としての教育活動の推進

○ AP(アドミッションポリシー): 本校が求める生徒像

★誇りと自信

- ・二百年を超える本校の歴史と伝統を誇りに感じる生徒
- ・人格の完成を目指し、自らを鍛え文武両道を極めようとする逞しい生徒
- ・自ら考え判断し、主体的に行動し、自己の行動に責任を持つ誠実な生徒
- ・人としての尊厳を重んじ、人の痛みをのわかる感受性豊かな生徒
- ・社会の変化に柔軟に対応できる生徒

○ CP(カリキュラムポリシー): 本校が展開する教育活動

★知性の刺激、失敗と恐れない学び

- ・高い学力を豊かな知性に高める上質な授業の展開
- ・修猷生としてのアイデンティティと実践的行動力の育成
- ・豊かな知識・技能の習得と思考力の育成
- ・知の探究活動と「学力の3要素」の育成
- ・自分の個性・興味と将来の人生設計を繋ぐ進路発見と実現のサポート

○ DP(ディプロマポリシー): 本校を卒業するまでに身に付けさせる力

★”修猷と誇るな、修猷が誇る人となれ”

- ・世界の現実を直視し、自己の使命を果たそうとする高い志と国際的素養
- ・知性と感性が調和した豊かな人間力と実践的行動力
- ・豊かな人間性と創造力、自己教育力、リーダーシップ・フォローシップ
- ・礼儀と倫理観、論理的思考力や科学的思考力

◆本校の指導内容

○ 育成したい資質・能力

★骨太の人材

21世紀の日本を担い、国際社会で縦横無尽に活躍する骨太の人材

- ・正義感や高い規範意識、生命・人権を尊重する倫理観等の道徳的価値
- ・民主主義社会の主体的形成者としての使命感
- ・困難な状況の中で生き抜く強靱な体力・精神力
- ・自由の意味を理解し、それを体現できる力
- ・幅広い知識や体験を基に自ら考えることのできる論理的思考力・批判的思考力
- ・リーダーシップ・フォローシップ
- ・大局的視野に立つことのできる、人としての大きな器
- ・互いの価値観や文化が異なることを踏まえて議論ができ、新しい価値観を創出できる力

1年				2年				3年			
応援歌指導	大運動会	十里踏破	予餞会	大文化祭	大運動会	十里踏破	予餞会	大文化祭	大運動会	予餞会	卒業式
創志研修・訪米研修・東北研修				関西研修・東京研修・訪米研修・東北研修				訪米研修・東北研修			
修猷館の生活(授業・行事等)に慣れる		修猷館の自由と主体性を学校生活で実践する		自分の将来について調べ、意識を高める		大文化祭の運営方針や計画を中心となって設定する		生徒会活動・大運動会においてリーダーシップを発揮する		進路目標の達成に向けて学習活動を展開する	
・社会の一員としての基礎・基本を定着させる				・社会の一員としての在り方・生き方を模索させる				・社会の一員として学校内外の諸事象への積極的関与を意識させる			
・生徒会等、自治的活動に主体的に参加する態度を育成する				・任意の主体的活動を活性化し、生徒自治の機能を高める				・生徒自治に係る課題を主体的に解決し、集団生活の自主運営能力を高める			
・部活動への積極的参加を促す				・部活動の目的達成のために努力させる				・部活動での経験を活かし行事等での指導力を向上させる			
・卒業生キャリアセミナー(CS)で、将来を考えさせる				・卒業生CSで、「学ぶ」「働く」について調べさせる				・卒業生CSで、「学ぶ」から「働く」への移行について考えさせる			
・出前授業を通して、社会・学問に対する見聞を広げる				・出前授業に再度参加させ、社会・学問に対する関心を深める							
・学力の基礎基本の徹底と実力の増強を図る				・普通クラス・英数クラス各々に応じた学力の定着を図る				・進路目標の達成に十分な学力の定着を目指す			
・家庭学習を重視した自ら学び自ら考える態度を習得させる				・自ら学び自ら考える態度の醸成を図る				・大学や社会でも学び続けられる能力を育成する			
・新しい時代に対応する情報リテラシーを育成する				・分析的な理解力・判断力を育成する				・「小論文講座」で、文章構成力・表現力・論理的思考力を育成する			
・議論の大切さを認識させる				・課題を発見し、解決するための能力を育成する				・コミュニケーション能力・リサーチ力・論理的思考力・科学的思考力を統合させる			
・リサーチ力・プレゼン能力を育成する				・リサーチ力・プレゼン能力を育成する							

「鍛ほめ福岡メソッド」の実践

[生徒意識調査・授業アンケートの実施と分析・評価→改善]

◆平成30年度の教育重点目標

★授業等の改善・充実

- ・校種間(中高・高大)の接続を意識した授業を展開し、知識・技能の習得とその活用を内包する授業を展開する。
- ・教育活動全体をとおして、自他の個性を理解し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育む教育を実践する。
- ・二期制の特色を生かした修猷館層のもと、生徒の多様な資質・能力を伸ばす柔軟で効果的な教育方法やシステムの研究を推進する。

★豊かな人間性と実践力の育成

- ・学校行事の意義について学校全体での共有によることで、「世のため人のため」という言葉に凝縮される本校の全人教育を充実させる。
- ・命の大切さを認識させ、自尊感情・人権感覚等を主体的に獲得させるとともに、各種調査等から生徒の実態を把握し、教育活動を充実発展させる。
- ・授業や特別活動等における交流、言語活動の充実をとおして人間力を高め、グローバルリーダーに相応しい態度と実践力を育成する。

★教師としての資質・能力の向上

- ・教師一人ひとりの言動が「隠れたカリキュラム」として修猷文化を醸成するという自覚を持ち、自ら進んで研究と修養に努め、教養を高める。
- ・「語りの文化」を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業や評価等の研究・開発・蓄積に努め、共有化を図る。
- ・健康の維持・増進を図り、幅広く知識と経験の習得に努め、専門性の向上を図る。